日本地球惑星科学連合固体地球科学セクション
地球内部科学 FG

（１）2019 年度の活動報告
島 伸和（委員長）、高橋 太（副委員長）、田中 聡（幹事）、井上 徹、大谷栄治、鍵 裕之、中川 貴司、山﨑 大輔、吉澤 和範

１）JpGU に SEDI-J としての継続的なメインセッション（担当：中川）と SEDI-J と関連するテーマセッション（担当：高橋）を立ち上げた。
２）IUGG SEDI が台湾で今年の 6 月に開催予定であったが、来年度に延期になった。
３）本グループの方針を決めて、地球内部科学 FG の継続申請を行う。
本グループの体制を決める方針を次のように決めた。IUGG SEDI に対応する国内グループとして SEDI-J として位置づけ、本グループで SEDI-J を維持する継続的な体制を確立したいためである。
・委員長は前副委員長
・副委員長は新任で次期委員長、
・幹事は前委員長
・地球内部科学は、SEDI-J として IUGG SEDI に対応するだけでなく、SEDI 以外の分野もカバーすることから、委員長は、IUGG SEDI に直接関与する人と、そうでない人との交互になるようにする。
以上の方針をもとに次期体制を決め、（２）のように継続申請を行うこととした。

（２）継続申請
地球内部科学 FG は、SEDI-J（IUGG SEDI に対応する国内グループ）の活動を含む FG としてこの継続を申請する。

１）新体制

高橋 太（委員長）、馬場 聖至（副委員長、新任）、島 伸和（幹事）、大谷栄治、鍵 裕之、川添 貴章（新任）、田中 聡、寺崎 英紀（新任）、中川 貴司

２）今後の活動方針

・SEDI-J の活動を継続するとともに、地球内部科学に関わる SEDI-J 以外の分野でも活動を行い、地球内部科学に関わる若手人材育成を含め研究分野の活性化を促す。

・JpGU において、SEDI-J としての継続的なメインセッションと SEDI-J と関連するテーマセッションを行う。

・2021 年に、台湾で開催予定の IUGG SEDI に必要な対応を行う。学生のための予算要求を考える。

・2024 年に、The 26th Electromagnetic Induction Workshop (EMIW)を日本（別府）で開催予定（2022 年の予定が COVID-19 の影響により延期）であり、そのための準備を進める。